

## SGH・授業改善に係るアクティブ・ラーニングの研究授業

日時 平成26年10月20日(月)5限13:15~14:05 授業者 大野 広行 教諭  
教科(科目) 理科(生物基礎) クラス 1年4組 会場 生物講義室

本校職員が中濃地区生物研究会研修会で、**アクティブ・ラーニング**を公開しました！



①プロジェクターで教師が課題提示



②各自で課題を解答



③グループで解を求める

■ アクティブ・ラーニングは**旧来の一斉講義型授業から脱却し、生徒が主体的に学ぶ機会を保障する授業**です。

■ 生徒たちは教師から提示された課題を一人でできるところまでやったあと、4人1組のグループに分かれ、協力して解を求めました。



④できたグループから教師に解答



⑤他グループからヒントを入手



⑥グループ内で解答の確認

■ 解答が出たグループから教師に説明し、正解すると課題に基づいた演習問題を受け取ります。

■ まだ、解が出ないグループは、すでに正解したグループに質問に行きます。



■ 演習問題の分からないところをグループ内で教え合い、学び合う姿が教室中に広がりました。

<アクティブ・ラーニングのポイント>

・教師視点でなく**学習者視点の授業**

・教師からの一方的な情報伝達だけでなく、**生徒相互の情報のやりとりができる授業**

・**生徒の協同による学びがある授業**